



よさこいふるさと 市議会だより

ジョン万のふるさと土佐清水



第87号

2013年11月1日



9月定例会

- 9月定例会の概要 2
- 陳情・人事案件
- 通年議会Q & A・意見書・委員会の構成 3
- 議案の議決結果の一覧 4
- 一般質問(要旨) 5

インターネット議会中継

本会議の模様を生中継(ライブ)及び録画中継を配信中!!
ぜひご覧ください。[土佐清水市役所ホームページ [土佐清水市議会をクリック](#)]

9月定例会の概要

議員定数を2人削減!!（14から12へ）



9月定例会は9月3日に開会し、9月26日までの24日間の会期で行われ、市長から報告案件4件（報告3、承認1）、議案25件が提案されました。初日には、次期一般選挙より議員定数を2人削減とする「土佐清水市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について」及び来年1月から定例会の回数を年1回とし、会期を通年とする「通年議会」の実施に関連した条例や会議規則などの改正に係る議案について採決しました。

質疑・一般質問は、9月9日から11日までの3日間行われ、男性平均寿命全国ワースト2位、観光振興、特別養護老人ホームしおさいの実態と運営等について、11人の議員が質問戦を開いたしました。

最終日には、今定例会で付託された議案について、各常任委員会の審査結果報告を行い、採決の結果、すべて承認、認定、可決いたしました。その後市長から追加提案のあつた諮問1件、同意案2件については採決の結果、「副市長の選任について」は否決、残りの2件については、同意いたしました。議員からは「地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について」など市議会議案3件が提出されたほか議会運営委員会条例の一部を改正する条例の制定についてが提出され、原案のとおり可決しました。

陳情の審査結果

議会へ提出された陳情は、所管の委員会に付託され、次のとおり決定しました。

○議員定数削減についての陳情

採 択（みなし）

○第一号墓園への車歩道造成についての陳情

採 抠

人事案件

○人権擁護委員

●宮崎 昭好 氏

○固定資産評価

審査委員会委員
(爪白)再任

○固定資産評価

●川渕 洋明 氏
(下ノ加江)再任

人事案件として提出され、それぞれ同意いたしました。

議会の チェック機能さらにUP

通年議会導入!!

平成26年1月より実施

「通年議会」とは?

これまでには、年4回の定例会が開催され、それぞれの議会ごとに会期が決められていましたが、「通年議会」を導入することにより定例会の回数を年1回、会期を1月から12月とし、必要に応じて本会議や委員会を開催することができます。また、

導入のメリットは？

災害時の緊急対応やこれまで専決処分していた緊急を要する行政課題などが発生した場合、速やかに本会議を開いて対応できるほか、常任委員会の調査活動等が必要な時にできることとなり、議会のチェック機能が強化されます。

今までの議会運営とどこがちがうの？

「通年議会」では、場合によつては、いつでも本会議を開くことができますが、1月（この際の招集のみ市長が行う）に開会し3月、6月、9月、12月に再開します。ただし、会期中に緊急に議案等の審議が必要な場合は、その都度、議長の判断によりすぐに本会議を再開することとなります。

このように、今まででは会議と会議の間は「閉会中」でしたが導入後は「休会」となり、会議が中断されている形となります。

なお、一般質問については、これまでと同様、3月、6月、9月、12月に行います。

意見書

次の意見書を関係省庁等に提出しました

委員会の構成

平成25年9月(一)

総務文教
△橋本 敏男
矢野川周平 一美
井村 岡崎 永野
敏雄 宣男 修

產業厚生
清
大正

△岡林 喜男
小川 豊治
仲田 強 満

予算決算

△矢野川周平
森一美
中日
満瀧澤

西原 八九
強志 豊津
橋本 井村
敏男 每枝

岡林 喜男
13人

○中田　強
... 岡林

△西原 強志
矢野川周平
武藤 岡崎
清 宣男

議長（副議長）

議案の議決結果

議会	番号	件名	議決結果
9月定例会	報告第10~12号	専決処分した事件の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	一
	報告第13号	専決処分した事件の承認について(平成25年度土佐清水市一般会計補正予算(第3号))	承認
	議案第44号	平成25年度土佐清水市一般会計補正予算(第4号)について	可決
	議案第45号	平成25年度土佐清水市水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第46号	平成25年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第47号	平成25年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第48号	平成25年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第49号	平成25年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第50号	平成25年度土佐清水市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第51号	平成25年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
	議案第52号	平成24年度土佐清水市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
	議案第53号	平成24年度土佐清水市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第54号	平成24年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第55号	平成24年度土佐清水市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第56号	平成24年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第57号	平成24年度土佐清水市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第58号	平成24年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第59号	平成24年度土佐清水市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議案第60号	土佐清水市債権管理条例の制定について	可決
	議案第61号	土佐清水市子ども・子育て支援会議条例の制定について	可決
	議案第62号	土佐清水市特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第63号	土佐清水市営住宅駐車場管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第64号	土佐清水市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議案第65~67号	財産の取得の追認議決を求めるについて	可決
	議案第68号	工事請負契約の締結について	可決
	質問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	同意
	同意案第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	同意案第4号	副市長の選任について	否決
	市議会議案第1号	土佐清水市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	市議会議案第4号	土佐清水市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	市議会議案第5号	土佐清水市議会規則の一部を改正する規則の制定について	可決
	市議会議案第6号	市長の専決処分事項の指定についての一部改正について	可決
	市議会議案第7号	地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について	可決
	市議会議案第8号	来年4月からの消費税率引き上げを中止することを求める意見書の提出について	可決
	市議会議案第9号	南海トラフ巨大地震を想定した日米共同統合防災訓練にオスプレイを参加させないことを求める意見書の提出について	可決
	市議会議案第10号	土佐清水市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決

賛否の分かれた議案等

番号	件名	矢野川周平	森一美	小川豊治	西原強志	永野裕夫	岡林喜男	永野修	岡崎宣男	瀧澤満	岡林守正	仲田強	井村敏雄	橋本敏男	武藤清	議決結果
同意案第4号	副市長の選任について	○	○	×	×	○	×	×	×	○	議長	○	×	×	○	否決 (賛6、反7)
市議会議案第1号	土佐清水市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	×	×	○	○	×	議長	○	×	○	×	原案可決 (賛8、反5)
市議会議案第8号	来年4月からの消費税率引き上げを中止することを求める意見書の提出について	○	×	×	○	○	○	○	○	○	議長	×	○	○	○	原案可決 (賛10、反3)
市議会議案第9号	南海トラフ巨大地震を想定した日米共同統合防災訓練にオスプレイを参加させないことを求める意見書の提出について	○	×	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決 (賛11、反2)



1 男性平均寿命について

(質問)
低寿命の原因と今後の対策について

(健康推進課長)

7月に2010年の全国市区町村別生命表が発表され、本市の男性の平均寿命が全国ワースト2位であつた。

このことに本当に驚き、衝撃を受けています。前回の調査では、78.2歳で県内でも上から9位であったが、今回は75.6歳で県下最下位となつた。

この原因を分析すると2010年は市内で166名の男性が亡くなり、その内65歳以下の死亡者が39名と多く平均寿命を大きく押し下げる結果となつていて。

市としては、これまで市民の健康管理に力を入れているが、特定健診の受診率が県内でも下位に低迷しており、受診率の向上対策は

喫緊の課題であると認識している。

今後においても、県などの補助を有効に活用し、特定健診や各種ガン検診の受診率を向上させることにより市民の健康管理に対する意識を高めていきたい。

(市長)

各種ガン検診をはじめ生活習慣病の予防を目的とした特定健診の実施をより推進し、生活習慣を改善させる取り組みが大切である。

このために、一次予防にも重点を置き、自己管理能力の向上と専門家による定期管理、健康づくり啓発活動等も積極的に推進していくたい。

2 異常干ばつについて

(質問)
異常干ばつの被害状況について

(産業振興課長)

今年の夏は30年に一度の異常気象と発表されたが、水稻には被害は無く作柄は概ね良好とのことである。

ただ、これから収穫を迎える作物に被害が出る恐れはあるが、今のところ被害の報告は受けていない。

また、異常干ばつにより柑橘類に被害が出た場合は、柑橘類生産農家が共済制度に加入していないため共済金は支払われない。

3 インフラ老朽化調査について

(質問)
インフラ老朽化の点検調査について

(まちづくり対策課長)

昨年度までに市道の全橋梁202橋の点検調査が完了しているほか、

道路ストック総点検についても本年度末までには一定の点検を終える計画である。

調査の結果、81橋について補修の必要があると判断しており、中期計画を立てたうえで、今後10年間で年間3,000万円程度の事業費により修繕していく計画である。



加久見の清水高校前の橋

気になる用語

インフラ… 基盤、下部構造などの意味を持つ英単語。「インフラ」はその略。一般的には上下水道や道路などの社会基盤のこと。

道路… 昨年12月に発生した中央道笠子トンネル天井板落下事故等を受け、老朽化の進む橋梁、トンネル等の道路ストックについて、落下・倒壊による第三者被害防止(重大事故防止を含む)の観点から国・県・市町村が管理する施設の安全性を点検するもの。

一般質問

小川 豊治 議員

1 市民の健康保持

(長寿)について

(質問)

先日公表された全国の平均寿命では、本市男性がワースト2位となつたが、現状認識は

(答弁)

生活習慣病での死亡者が全国平均より高い数値となつており、集計年度が特異な年であると短絡的には考えていない。

この結果を重く受け止め、市民の健康づくりに一層取り組む。

(質問)
各種検診の受診率向上のための方策は

(答弁)

従来からの国・県の補助事業を導入するほか、特に、特定健診(生活习惯病)の受診率向上を目指し区長会や健康づくり推進員等への受診勧奨の協力依頼を継続するなど効果的に受診率の向上を図りたい。

(質問)
今後における健康づくりの施策は

(答弁)

新たな対策として、歯科衛生士を配置し口腔衛生指導を充実することや「食生活・栄養」という課題では特に出席の少ない男性へ「いきいきサロン」等へ参加を促すなど啓発に努めたい。

また、生活習慣病を予防するため、中学生などを対象とした特定健診が実施できなか検討したい。

2 地籍調査の実施

状況と今後の取り組みは

(質問)
直近の進捗率はいくらか

(答弁)

昭和62年度より地籍調査事業に着手し、現在まで22地区を実施している。面積としては 19.24 km^2 、進捗率は9・45%となつてている。

全国平均の50%、高知県平均の49%に対し、本市の数値は著しく低いが、どこに問題があるのか

(質問)
今後の事業実施の計画は

(答弁)

本市は調査区域について、宅地・農地等のエリアを優先しており、調査筆数は多いが面積が少ないので進捗率が低い数値となつていて。

(質問)
調査の要望箇所は

(答弁)

平ノ段、爪白、市場町、浦尻、窪津、足摺岬、上野、布浦、布郷の9地区である。

気になる用語

生活習慣病… 食事のとりかた、水分のとりかた、喫煙/非喫煙の習慣、運動をする/しないの習慣等々の生活習慣が要因となって発生する諸疾病を指すための呼称・概念。

地籍調査… 主に市町村が主体となって、土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査。

布のいきいきサロン

西原 強志 議員

1 土佐清水市男性の平均寿命全国ワースト2位について

- ②特定保健指導・糖尿病・慢性腎臓病・高血圧の改善を目指す。
③タバコ対策を行う。

(質問) 原因と実態をどのように考えるか

(健康推進課長) 直接の原因は、通常この数値は3年間の平均値で算出されるが、

今回は東日本大震災の影響を避けるために平成22年の1年間のデータで算出されており、この年に50歳未満の若年者の死亡が例年と比べ非常に多かつたためである。

また、これに加え「ガン、心筋梗塞などの心臓病、脳梗塞などの脳血管疾患」といった生活習慣病での死亡者が全国平均より高い数値となっていることが原因の一つであると考えている。

(質問) 市民の健康を守る対策について

(健康推進課長)

- ①特定健診・各種ガン検診の受診率の向上を目指す。

今回の発表を受けて、市としてどのように取り組んでいくか

また、現在、喫茶店等の禁煙箇所は7箇所で、市内小中学校及び高校も全て禁煙となっている。

(質問) 市職員の健康づくり対策について

(市長)

健康で安心して働ける環境づくりが必要であり、健康管理のための各種研修の開催や安全衛生委員会での協議を踏まえた職場環境の改善等の対策を図っていく

本市の喫煙者数は

(質問) 国の調査結果をもとに推計した場合、男性2,018人、女性655人となる。

(質問) 喫煙対策にどのように取り組むか

(健康推進課長) 特定健診等の対象者に禁煙指導を行っているほか、「喫煙の害について」の出前事業を各小中学校で平成23年度から実施している。

今年度は、幡多福祉保健所が健康づくり推進員等に「とさ禁煙サポートーズ」の養成講座を実施する予定である。

(質問) 市職員の喫煙対策及び成人病検診について

(総務課長)

喫煙者の健康のみならず受動喫煙の問題等も考慮した対策が必要であるとの考え方から、平成24年4月より本庁舎内及び出張車は全面禁煙としている。

2 市職員の健康づくり等について

(市長)

平成22年という1年間のデータで算出された結果であるが、全国ワースト2位という不名誉なことであり、この結果を契機に市民の皆様に各種検診等の受診について呼びかけや周知徹底を行い、健康づくりについても積極的に推進していく。

気になる用語

とさ禁煙サポートーズ 平成18年度に厚生労働省から示された「禁煙支援マニュアル」に基づき、禁煙支援ができる人材を育成することを目的に、平成22年度より実施している。

講習会を修了した方を「とさ禁煙センター」として認定。地域や所属職場などにおいて禁煙のきっかけづくりや禁煙支援の活動を行っている。



店内禁煙の喫茶店

永野修議員

1 市長の政治姿勢について

(質問) 消費税増税について、どのように考えているか

(市長) アベノミクス効果が実感できていないうえ、食料品やガソリン、電気料金など物価上昇が予想されている中で、給料が上がるまでは増税すべきでないと考える。

(質問) 総務省の発表では、高知県の人口は毎年減少し、なかでも本市は全国で6番目に少ない市となった。

一方、人口が増加したのは東京、愛知、神奈川など8都県であるが、このうち基地問題を抱える沖縄県は70年代から毎年人口は増加している。

最近、沖縄県を訪問した市長は、このことをどのように感じてきたか

(市長) 戦前戦後の沖縄県の人口は50万人台で推移していたが、本土復帰後は毎年増加している。

この要因として、雇用関連の助成金があるため企業にとって雇用しやすい環境にあり、IT企業やコールセンターなど立地条件を選ばない会社が新たな産業を創出し人口増に繋がったことがっている。

(質問) 今年の見物客は4万5,000人で、経済効果は2億4,000万円と推計している。

2 観光振興と四国霊場について

(質問) 来年は四国霊場開創1200年の記念すべき年を迎える。

(市長) 「これを有効に生かすべきではないか

(市長) 四国霊場88カ所の札所では、様々な催しが計画されており、足摺岬の金剛福寺でもご本尊のご開帳を特別に2回行うとかがつてている。

また、高知県観光コンベンション協会や四国ツーリズム創造機構と連携し全体の取り組みとして観光振興に取り組む。

3 花火大会について

(質問) あしずり祭りの経済効果について

問う 今後は出店者へ指導を徹底して事故を起こさないよう万全を期して取り組む。

(産業振興課長) 会場内の露店で爆発が発生し、見物客が3名死亡したほか、入院治療している人も多数いるようである。あしずり祭りの安全対策について

(質問) 警察等関係機関はもとより、市職員約100名を配置し安全対策を講じている。

これまで幸いにして事故もなく開催してきたので安全対策は出店者の判断に委ねてきた。

(市長) 福知山市の事故を受け、消防庁から予防指導の徹底について指導があつた。



第38番札所 金剛福寺



あしずり祭り 花火大会

岡崎 宣男 議員

1 農業振興について

(質問)

本市農業の将来構想について

問う

(産業振興課長)

現在取り組んでいる新規就農者の受け入れ・集落営農の組織化とその先の法人化への支援、ブロックリーラー・あしずり黒潮米の品質向上と生産拡大支援、本市の気候に合った新たな農産物の開拓と産地化について、JA・産業振興センターと連携し取り組む。

(質問)

農地の集積は農業振興の重要な部分、利用権設定書類は記入例を渡し、書類作成してもらえばどうか

(産業振興課長)

注意事項を明記した記載例を新たに作成し、申請者に配布する際には十分説明、受付時に記載内容を十分確認することを徹底する。

(質問)

農業者の実労働人口・販売農家の

実態は衰退の一途をたどっている。

現状認識を問う

(産業振興課長)

実態については、高齢化・担い手不足・獣害・労働条件等多様であるが、これまで取り組んできた集落営農組織や認定農業者等農地の利用集積支援により農業経営の規模拡大と効率化を支援し、新規による雇用農業者の増加等にも取り組み、本市農業の安定に取り組む。

(質問)

認定農業者・新規就農者等意欲のある人材育成と具体的な支援奨励を図るべき

(市長)

農業は単に生産活動のみならず、国土保全・環境問題等日本古来の極めて重要な産業であると認識している。

(産業振興課長)

ついても経営が安定するまで技術的支援や営農指導を行っていくことが重要と認識している。
今後一層の組織の体制強化を市が全面的に支援していくたい。

2 市長の政治姿勢等について

(質問)

南海地震の非常食に地元産の玄米・白米を備蓄し活用を図ってはどうか

(市長)

災害備蓄については、現在9,500食を消防署に備蓄している。

本年5月15日に高知県が発表した被害想定では、本市の地震発生1日後の避難者数は14,000人と推計される。

提案のあつた、一定期間後に食料を入れ替える回転備蓄の方法に関しては、備蓄食料のストックばかりでなく流通備蓄や回転備蓄も有効な対策の一つであり、前向きに検討すべきと認識している。

気になる用語

集落営農組織… 集落を単位として、生産行程の全部又は一部について共同で取り組む組織をいう。

認定農業者… 自主的に農業経営改善計画を作成し、市町村から認定を受けた農業者。地域農業の担い手として、農地利用・資金・税制面などの支援を受けることができる。



大岐地区的ラッキョウ栽培

一般質問

永野 裕夫 議員

1 教育振興基本計画について

(質問) 弘田新教育長の教育行政に対する取り組みを聞く

(教育長)

ふるさとを愛しジョン万スピリットを持つ心豊かな人づくりを基本理念とした土佐清水市教育振興基本計画に基づき取り組む。

(質問) 新教育長の将来ビジョンを聞く

(教育長)

従来の教育は、知識を増やす教育が主流を占め正答のみが評価され途中経過は重要視されない傾向にあった。本市においては、基礎となる知識や技術を習得させながら、子どもたちの思考力・判断力・表現力を育成するためにも言語活動を充実させることが必要である。

特に、急速に国際化が進展するなか、英語のコミュニケーション能力を身につけることは重要であり、ジョン万といえば英語、英語といえば土佐清水と言われるよう取り組みを実現していきたい。

(質問) 新教育長の将来ビジョンに大いに賛成であるが、では清水高校に英語科を設置できないか市長の見解を問う

(市長)

公約に清水高校の高台移転とジョン万国際学科の創設を掲げている。

少子化により、清水高校もここ数年1学年2クラス編成という現状であり、このまま進展していくと将来廃校になる可能性もある。

このため、本市は特にジョン万のふるさとにふさわしい国際感覚を持った人材育成のためのジョン万国際学科(英語に特化した)の創設を目指す。

あわせて、特区申請による英語村構想も検討する。

(質問) 未収金は4,987万円となつてある。給水人口減少などが要因である。

(質問) 将来的に水道料金の値上げも考えなければならないが、どう対処するつもりか

(水道課長)

漏水率をできる限り下げていくとともに、催告書、停水措置を講じ未収金の減少に努める。

(質問)

土佐清水の水道水を市外で暮らす皆様に買っていただく事業を考えたらどうか

(市長)

水道事業収益が減少傾向にある現在、設備投資をどうするか等問題は山積しているが、地域おこしの手段として検討していきたい。

2 水道事業の現状と将来について

(質問) 水道事業収益が減少している要因は

(水道課長) 平成24年度の漏水率は22.9%、

3 今後の観光振興について

(質問) あしづり祭りの花火見学ツアーや観光の起爆剤に考えてはどうか

(産業振興課長) 関係機関と協議し前向きに検討したい。

気になる用語

土佐清水市 教育振興基本計画

土佐清水市における「教育」の一層の振興を図るため、今後、めざすべき教育の基本的な方向性や、重点的に取り組むべき施策について、教育基本法の規定に基づき市教育委員会が定めた計画。各事業の目標は、平成29年度時点における成果の状況を表す指標としてめざすべき姿が設定されている。



姉妹都市のフェアヘーヴンにホームステイした高校生

一般質問

仲田
強 議員

1 災害時要援護者の避難対策について

情報提供を行っている。

(質問) 災害時要援護者の避難行動要支援者名簿作成の状況

(答弁) 本市の対象者は

- ①身体障害者手帳1・2級保持者、療育手帳保持者、精神障害者保健福祉手帳保持者、自立支援医療費受給者

- ②ひとり暮らしの75歳以上の者及び75歳以上で構成されている世帯の者
③介護保険要介護3以上の認定者
④その他、市長が支援を必要と認める者で、合計1,876人中1,393人が登録しており、今後も推進を図る。

(質問) 情報共有の体制は構築されているか

(答弁) 登録台帳と名簿については、民生委員、区長、自主防災組織、消防団、社会福祉協議会、警察、消防署に

(質問) 個人情報保護条例に関する秘密保持の認識の共有について

(答弁) 情報提供を行うにあたり、要援護者本人の同意を得ており、提供を受ける関係者には、目的外利用の禁止や適正な管理など誓約書を提出してもらうなど徹底している。

(質問) 今後の自治体の入念な準備と実効性のある具体策の構築について

(答弁)

災害時の対策として福祉避難所（4箇所協定済み）の運営において、ボランティア団体や介護事務所との連携体制の推進や地域の具体的な避難支援方法を地域づくりに繋げたい。

個別支援計画は、今後の検討課題。

2 「いじめ防止対策推進法」の制定を受けて

検討したい。

(質問) 「いじめ防止対策推進法」の制定を受けての見解を問う

(答弁) 平成24年度では、中学校1件、小学校3件、本年一学期では中学校で2件の報告がされている。

いじめが解消しがたい場合には、児童・生徒その保護者の心身の苦痛を無くすため「学校警察連絡協議会」等の連携強化を図る。出席停止については、運用に慎重を期すべきと考えている。

学校の指針ともなる「地域いじめ防止基本法」の策定に取り組む。

新清水中学校としては、夏季休業中に再三にわたり協議を持ち、取り組みの反省もし、専門の人材派遣制度を設け、8月26日の始業式から緊急対応をしている

11 びひづ 市議会だより／87号

気になる用語

いじめ防止対策推進法…国や地方自治体、学校がいじめ防止に取り組む責務について定めた法律で本年9月28日に施行された。同法律は、国や学校にいじめ防止の基本方針策定を求めており、今後は教育行政や学校現場による実効性のある取り組みが行われることとなる。



三崎浦ニコニコ公園で散歩する人

一般質問

岡林 喜男 議員

1 障害年金制度の周知徹底について

(質問)

国のサンプル調査では、制度を知らなかつた人が19%程度いたほか、制度の内容について周知徹底が必要と思われる人が295人中114人もいた。

厚生労働省もその必要性は認めているが、障害者だけではなく、市民全体に対して国民年金などと同様に障害年金制度の周知徹底を行うべき

(市長)

早急に対策を講じる必要性があるものの、財政的な問題などにより短期間では実施できない。

中・長期的な計画を策定して、市民の命を守るという観点から取り組みを進めていきたい。

2 市営住宅の耐震、防災、改築について

(質問)

耐震防災改築計画を中・長期的に策定する必要がある

サービス向上の観点からも、わかりやかに対応していきたい。

(質問)

教育の無償化は、子どもたちの「社会全体が自分の学びを支えてくれる」という意識を育む。

それは「自分の知識を社会進歩に還元しよう」という真の学習動機や人格の形成にも結び付く。

政府が進めている高校無償化制度への所得制限導入は「学びを支える理念を否定」するもので、やめるべき

(教育長)

「はだしのゲン」は、漫画家・中沢

啓治さんが自身の被爆体験をもとに描いた漫画で、忘れてはならない戦争の悲惨さや恒久平和の願いを児童・生徒に漫画でわかりやすく伝えているものと認識している。

また、今回の問題については委員会審議をすべきであつたと考える。

3 高校授業料無償化に所得制限が導入されることについて

(質問)

今回、島根県松江市で起きたこの問題のように、子ども達の学ぶ権利に関わる重要な事項が教育委員会の会議にかけられず事務局の独断により閲覧制限要請が行われたことは、適切な教育行政の觀点からも問題がある。

閲覧制限について、どのような

認識を持っているか

(教育長)

気になる用語

障害年金制度… 国民年金に加入している間に初診日のある病気やケガで、法令により定められた障害等級表による障害の状態にある間は障害年金が支給される。

高校授業料無償化所得制限… 公立高校の授業料無償化に来年度から年収910万円以上の世帯を無償化の対象から外し、代わりに低中所得層の支援拡充を図るもの。

市営住宅（グリーンハイツ）

1 メジカ価格について

(質問)

土佐食がこれまで市に納めている配当金の額とその活用状況について聞く

(市長)

土佐食から市への配当は、平成14年度から現在まで続いており、平成15年度から平成24年度までは毎年1,000万円、平成14年度及び平成25年度については500万円、合計で1億1,000万円となっている。また、配当金については、毎年一般財源へ繰り入れしており、市政全般に使われている。

(質問)
燃料代が高騰した際に漁業者に補助するための財源として活用できないか

(市長)

平成20年度にこの配当金を利用して一定の補助を行つた経過があるが、今後、このときのような補助事業の実施やメジカの単価が暴落したときの補てん対策についても検討していく。

2 足摺テルメのプール存続について

(質問)

今年は夏場の一定期間プールが再開されたが、市民の健康増進のためにも通年運営することはできないか

(市長)

現在の指定管理者の基本的な考え方としては、プールの通年運営を目指しているが、現状は、夏場のあまりコストのかからない期間のみの開設となっている。

しかしながら、市民の健康増進対策として捉えた場合の国・県の支援策の可否なども含め指定管理者と協議検討する。

4 近年の観光の変化について

(質問)

近年の観光は、滞在型・体験型と言われるものが注目され、本市においては特にマイカーで訪れる観光客に対して、旬の美味しい魚を安価に提供するといった取り組みが求められている。

(質問)
こういった取り組みへの市の支援を

(市長)

窪津漁協については、食を中心とした先進的な取り組みが行われていると評価している。

アイデアをどんどん提案していただき、行政もできる限りバックアップしていく。

3 災害に強いまちづくりについて

(質問)

窪津地区における防災対策について

(市長)

窪津地区における防災対策については、窪津漁協の荷捌き所の撤去や新しい事務所の建設、橋の関係など総合的な計画の上に立つて、もう一度総合的に計画書を作成するなかで、国・県に対する要望について、一緒に取り組んでいきたい。



土佐食株式会社



足摺テルメプール

一般質問

武藤

清議員

1 新教育長に聞く

(質問)

「いじめ問題」や「教育委員会不要論」など、教育関係を取り巻く環境は極めて厳しい状況と言える。就任にあたって、今後の抱負をお聞かせ願いたい

(教育長)

「土佐清水市教育振興基本計画」に基づき取り組んでいるところで、あるが、社会に出てからも学び続けるために、知識量型ではなく、常に変化する社会に対応し得る子どもを育てていく。

2 「白鳳地震」遺跡の真偽は

(質問)

8月5日に「爪白沖、海底に眠る石柱群」の報道があった。

この報道をどのように受け止めているか

(生涯学習課長)

「白鳳地震（西暦684年）」は、記録に残る最古のものと言われ、爪白地区の海底にある「石」の存在は、

郷土史「三崎村郷土研究」の中で村に伝わる伝承・伝達として紹介されている。

この「石」は花崗岩であること以外、文字などは発見されておらず、地震による津波で流出されたものかどうかは定かではない。

(質問)

この報道は、歴史的遺物が少なく地域の歴史を証明する古文書等も多くない本市にとって、大きな財産につながるものになると思う。

専門家の調査で、このことの真偽を明確にし、この地に住む人々の心の拠り所とすることや観光資源として活用できなか

(生涯学習課長)

文化財調査会委員や郷土史同好会など関係機関の意見を聞きながら協議・検討していく。

3 あしずり黒潮米について

(質問)

あしずり黒潮米「評判上々」を今後の戦略にどのように活かすか

(産業振興課長)

あしずり黒潮米は、生活排水の流れ込まない圃場によりメジカの魚粉を肥料としたうえで「てま・ひま」をかけてつくる米である。

「食味値検査」では、美味しいと言われる75という目安の数値を大きく上回る80以上の数値を全ての生産者が記録している。

課題としては、作付面積の拡大やブランド米としての品質維持のため厳しい生産管理が求められていることが挙げられるが、今後、研修会を実施しながら食味値維持等についてJAや生産者と検討を行っていく。

4 観光振興

(質問)

中央商店街の空き店舗に絵画を

(産業振興課長)

今年度、老朽化した商店街の街路灯の全面改修に向けた取り組みを行っており、併せて商店街の活性化に向けて検討したい。

気になる用語

白鳳地震…(はくほうじしん)

白鳳時代(飛鳥時代後期)に起きた、南海トラフ沿いの巨大地震と推定される地震。南海トラフ巨大地震と推定される地震の確実な記録としては最古のもので、発掘調査により、ほぼ同時期に東海地震、東南海地震も連動したと推定されている。



あしづり黒潮米

一般質問

橋本 敏男 議員

1 特別養護老人ホーム しおさいの実態と 運営

(質問)

「しおさい」の実態を検証するため
にも、過去十年間における庁内の
懲戒処分件数と処分内容を示せ

(答弁)

平成14年12月議会以降、平成24
年度末までの件数及び人数は、戒告
18事案で22名、減給が4事案で
6名、停職3事案で3名、免職2
事案で2名、合計27事案で33名が
懲戒処分となつており、その他、
訓告・嚴重注意など公務上の不
適切な事務処理による懲戒処分に
至らない事案もある。

(質問)

「しおさい」における平成14年度
から平成25年度までに起こした
事故件数と介助ミス等の人的ミスに
よる事故件数を示せ

(答弁)

合計事故件数は588件、その

うち人的ミスは60件が報告されて
いる。

(質問)

第三者委員制度の目的は、事業
者が利用者の苦情を隠ぺいする
ことや密室化することを防ぐためで
あるが、その機能が十分果たされて
いるのか

(答弁)

第三者委員制度は、入所者の苦情
を公正に処理していく仕組みで、
窓口まで苦情などの真の声が届き
にくいといったことや水際でそれを
もみ消すことはあつてはならない
ことである。

公開の原則からすれば第三者
委員制度自体機能していないの
ではないかと考えている。

(質問)

第三者委員制度をより能動的・
機能的に稼働させるために、施設の
職員と第三者が定期的に情報交換
し合えるような仕組みをつくる
べきではないか

(答弁)

入所者や家族が抱く不安や疑問に
対し真正面から向き合うためにも、
提案のあつた定期的に第三者委員
会を開催する仕組みづくりについ
ては、民間の事例も参考にしながら
今後検討していきたい。

(答弁)

「しおさい」における基金残高は
約1億3,470万円であるが、
平成25年度にも5,000万円を
取り崩すこととしている。

このような「しおさい」の今後の
運営見通しについてどのように
認識しているか

(答弁)

このまま推移すると、数年で基金
は枯渇する状況であり、そうなれば
一般財源からの持ち出しが必要と
なる。

第三者委員制度… 福祉サービスに関する苦情等について、当事者である利用者と事業者との間で解決するのではなく、当事者とは関係のない第三者委員の客観的な視点を取り入れる制度。福祉サービス利用者の中には、事業者から不利益を被ることを恐れて、苦情を言い出すことができなかつたり、あるいは物理的・精神的理由で苦情の申出が困難な人も存在するなか、潜在化して表面に現れてこない声を吸い上げることなどを目的に苦情解決等の仕組みとして位置付けられている。



特別養護老人ホームしおさい

7月	29～30日	議会運営委員会行政視察(千葉県長生村)
	31日	総務文教常任委員会
8月	1日	議会運営委員会
	8日	全員協議会、総務文教常任委員会
	9日	総務文教常任委員会
	12日	議会運営委員会・議会だより編集委員会
	22日	産業厚生常任委員会
	23日	平成25年度国道321号改良促進期成同盟会総会
	26日	総務文教常任委員会
	30日	第123回高知県市議会議長会臨時総会(四万十市)
9月	2日	議会運営委員会
	3日	9月定例会開会
	9日	本会議(質疑・一般質問)
	10日	本会議(一般質問)
	11日	本会議(一般質問)
	12日	予算決算常任委員会(予算審査)、議会報告会代表者会
	13日	総務文教常任委員会
	17日	産業厚生常任委員会
	18～20日	予算決算常任委員会(決算審査)
	26日	9月定例会閉会
	27日	議会報告会代表者会



編集後記

9月議会では、定例の委員会編成が行われ、議会だより編集委員会も一年間、心も新たな決意で、議会と市民との架け橋となるよう取り組んで参ります。

今議会では、9月3日の開会日から施行されることとなりました。

これにより、ほぼ一年間を通じて会期中となり、災害など突発的な事件や市民からの緊急な請願や陳情に対しても迅速に対応できることになります。

また、議員定数条例の改正も2名削減の12名とすることで議決され来夏の一般選挙から適用されます。

さて、今議会は11名の議員が一般質問を行ったほか、3日間の日程で平成24年度決算審査を実施し、最終日26日には、消費税率引き上げ中止や、日米共同統合防災訓練にオスプレイを参加させないことを求める等の意見書が賛成多数で可決される一方、副市长選任案件が賛成少数で否決されるなど、各議員の賛否が分かれました。今後も議会情報を正確に発信しつつ、議会報告会等での市民のご意見やご提案を市政に反映させて参ります。

委員長 仲田 強

市議会を傍聴してみませんか

開催日程など詳細は、事前に議会事務局【☎(82)1111-2】までお問い合わせください。

○次回の開会予定は12月初旬です。
日程が決まり次第、防災行政無線でお知らせいたします。

会議の詳しい内容は会議録をご覧ください。
定例会の一般質問など会議での発言を記録した「会議録」を作成しています。

製本は次期定例会頃となります。どなたでも閲覧できます。ので、市民図書館・議会事務局へおこしください。



土佐清水市議会だより

編集委員会

仲田 強

西原 強志

矢野川周平

岡林 喜男

岡崎 宣男

武藤 清